

六郷

～元気に輝いて～



令和6年度
第52号

2024.9.24

子どもたちの経験を深める外部講師を招いての学習や体験活動⑳

【「あきた県庁出前講座「野生動物の生態と対策について（クマを知ろう!）」】

（講師：秋田県生活環境部自然保護課 ○○○○さん・○○○○さん、町農政課 ○○○○さん）

20日に、県生活環境部と町農政課の方を講師にお招きして、「野生動物の生態と対策について（クマ講座）」を行いました。この講座では、下学年・上学年の2部に分けて、子どもたちの実態に応じたお話をしていただきました。この一時間の講座を通して、昨年度から話題となっているクマ出没への対策について、子どもたちでもできることを分かりやすく教えていただきました。

【クマについて】

- ・大きさは、秋田犬と同じくらい。野犬はほとんどいないので、秋田犬ぐらいの大きさの「黒い」生き物を見かけたら、クマだと思って用心した方がよい。
- ・クマは足跡から判断することができる。犬は指が4本なのに対して、クマは指が5本。5本指の足跡を見つけたら、まわりの大人に伝えてほしい。
- ・道ばたに「フンが固まって」落ちていたら、クマかもしれないので、まわりの大人に伝えてほしい。（クマのフンは「臭くなく」、いい匂い？がするそうです。）

【クマ被害に遭わないようにするために】

- ・基本的にクマは、人間を恐れて離れていく。鈴を付けたり、複数で話をしたりしているとその音に反応して離れていく。
- ・クマの食べ物は、木の実などの植物やアリやハチなどの昆虫。動物や人間を食べ物として襲うことはない。
- ・クマの足の速さは、人間よりもはるかに速い。もし、出くわしたら、目を離さずゆっくり後ずさりする。
- ・後ずさりする余裕もないときは、頭と首を守りしゃがみ込む。



野生のクマが里に下りてくる機会が増えていますが、今回のように「クマについて正しく知ること」が被害に合わないことにつながることを教えていただいたことは、貴重な体験になりました。

